

上原 明 うえはら あきあき



学校法人城西大学理事長

2017年9月11日付で学校法人城西大学の理事長に就任した。

新理事長は1941年東京都生まれ。1966年慶應義塾大学経済学部卒業、1977年大正製薬株式会社入社、1982年代表取締役社長、2013年大正製薬ホールディングス株式会社代表取締役社長に就任。日本大衆薬工業協会会長、世界大衆薬協会会長、アジア太平洋セルフメディケーション協会会長などを務めた。慶應義塾評議員・理事、

成蹊学園評議員・理事を長年務めるなど、学校教育との関わりも深い。

1965年に水田三喜男によって創立された学校法人城西大学は、埼玉県坂戸市、千葉県東金市・鴨川市、東京紀尾井町と首都圏横断的にキャンパスを展開し、学生1万4000名を擁する総合大学へと発展した。創立者と新理事長の義祖父上原正吉

父堀田庄三の関わりは深く、謙虚かつ人を温かく包むお人柄であられた水田氏を大変尊敬していたと聞く。

建学の精神を守り、発展させるため、教職員へ、①大きな流れをつかんで身近なことから手をつける「着眼大局、着手小局」の基本姿勢、②短期的視点より長期的視点に立った判断基準、③部分最適よりも全体最適を考えた決断とするよう要請し、城西大学、城西短期大学、城西国際大学の三大大学が一致協力し、地域に貢献して、国際的に活躍できる人材の育成に取り組みと抱負を述べた。

齊藤 悦一 さいとう じついち



園田学園理事長

学校法人園田学園の齊藤悦一理事長は、一谷宣宏前理事長の急逝を受け、2017年8月8日に理事長に就任した。

新理事長は1944年6月26日兵庫県生まれ。1968年兵庫県立神戸商科大学（現兵庫県立大学）経営学部（会計学ゼミ）卒業。同年日商株式会社（現双日）に入社。経理部、財務部外国為替、産業機械・電子機器各営業部、2度の米国デトロイト駐在（計10年間）、監査室、子会社経

営などを経て2004年6月定年退職。2005年学校法人園田学園に奉職。同学園では法人本部事務局長、常務理事として前理事長を補佐し、学園経営の重責を担ってきた。

新理事長は、実務を通して実行した学園の経営改善施策を纏めた「経営構造の適正化」を執筆。学園の経営管理システムを時代に即した形態へ改善し、経営状態の改善を図った。人柄は円満で優しく包容力がある。

仕事は積極的に発想力と実行力に優れている。地域に根差し、かつ国際化された学園の創造を意欲的に進めていきたいと、抱負を述べている。座右の銘は「物来順応」"Be always prepared"。

学校法人経営の理念は、関係者が等しく利益を享受でき、成果を社会に還元し貢献することである。本学園は、2015年8月30日付朝日新聞一面の「教育差点」で取り上げられ、注目を浴びた。

門脇廣文 大東文化大学学長、文学部教授。'81
 東北大学大学院博士課程単位取得退学。博士
 （文学）。東北大学助手を経て、'00から現職。
 著書『文心雕龍の研究』、『洞窟の中の田園』。

清水 潔 皇學館大学学長。'73皇學館大学大
 学院文学研究科修了。博士（法律学）。同大神
 道研究所所長、史料編纂所所長、学生部長、
 文学部長を経て、'11から現職。

川井伸一 愛知大学理事長・学長。'83東京大
 学大学院国際関係論博士課程単位取得退学。
 愛知大学副学長を経て、'15から現職。著書『中
 国上場企業 内部者支配のガバナンス』など。

戸部順一 成城大学学長。東京大学大学院人
 文学研究科博士課程単位取得退学。'16から
 現職。著書『ポリュアイノス』、『戦術書』など。

安藤由紀美 学校法人東京女子大学運営
 部長。同大学文学部卒。教育研究支援部を
 経て、総務課長（周年事業、自己点検・評価、
 I R等を担当）を務めた後、'17から現職。

兼高聖雄 日本大学藝術学部教授。'90慶應義
 塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。社
 会心理学・メディアコミュニケーション論専
 攻。著書『コミュニケーション学入門』ほか。

矢口悦子 東洋大学文学部長、教授。お茶の
 水女子大学大学院人間文化研究科博士課程単
 位取得退学。博士（人文科学）。著書『イギリ
 ス成人教育の思想と制度』など。

渡辺 保 新潟経営大学学長。'03新潟大学大
 学院現代社会文化研究科修了。博士（学
 術）。'05から教授、'11から現職。主書『現代ス
 ポーツ産業論』など。

内藤多恵 龍谷大学政策学部教務課 課長。
 キャリアセンター課長などを経て、'15から現職。
 日本私立大学連盟キャリア・デイベロップメ
 ント研修運営委員。

山本昭二 関西学院大学専門職大学院経営職
 略研究科教授。神戸大学大学院経営学研究科
 博士後期課程修了。日本学術会議連携会員。
 著書『サービス・クオリティ』。

古俣升雄 東京工業大学環境・社会理工学院
 CUMOTプログラム特任助教。'12法政大学
 大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻
 修了（経営学修士）。

横山研治 立命館アジア太平洋大学副学長。
 早稲田大学政治経済学部卒業。博士（経営
 学）。'00立命館アジア太平洋大学教授に就任。
 専門は貿易論、貿易制度論。

岡本宣文 大正大学理事長。'68大正大学大
 院文学研究科仏教学専攻修士課程修了。大正
 大学事務局長を経て、'00から同大学理事・評
 議員、'15に理事長に就任、現在に至る。

中島 隆 駒澤大学深沢校舎事務室課長。'78
 駒澤大学経済学部商学科卒。卒業後本学入職。'07
 深沢校舎開設時から4年間勤務、'17から現職。

山本功一 立正大学管財部熊谷管財課課長。

澤登早苗 恵泉女学園大学人間社会学部教授。'90東京農工大学大学院連合農学研究科修了（農学博士）。専門は園芸学・有機農業学。'10から現職。主著『教育農場の四季』（単著）など。

武田史朗 立命館大学理工学部教授。学校法人立命館キャンパス計画室副室長。'17から現職。主著『自然と対話する都市へ…オランダの河川改修に学ぶ』（昭和堂）など。

和田ちはる 明治学院大学文学部専任講師。'10東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。博士（音楽学）。'16から現職。専門は20世紀ドイッ音楽。

増田尚史 広島修道大学健康科学部長、教授。'99名古屋大学大学院人間情報学研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。'14人文学部長、'17から現職。専門は認知心理学。

石田涼 学校法人京都精華大学理事長。同志社大学文学部文化学科卒。

小栗優貴 中京大学スポーツ振興部スポーツ振興課主任。'07愛知県立大学文学部国文学科卒。'10名古屋商科大学入職、学生支援部門教務担当サプリーターを経て、'14から現職。

立山徳子 関東学院大学人間共生学部教授。'97東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学。共著『パーソナル・ネットワーク論』、『家族』はどこへいく』など。

岡田龍樹 天理大学副学長（社会連携・学生支援担当）。'89広島大学大学院教育学研究科博士課程退学。修士（教育学）。'91から天理大学。人間学部人間関係学科生涯教育専攻教授。

岸孝之 '84生まれ、仙台出身。プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスに所属。投手、右投右打。'06東北学院大学を卒業後、西武ライオンズ（現・埼玉西武ライオンズ）に入団。'14最高勝率のタイトルを獲得。'17東北楽天ゴールデンイーグルスに移籍。

外川智恵 大正大学表現学部准教授。大正大学文学部卒。'92山梨放送入社。'01からフリーとして活動。TOKYO FM「SYMPHONIA」（月曜〜木曜）のパーソナリティも務める。

（お断り）本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

2017年
11月・12月

- 11月7日(火)
第7回常務理事会、財務省主計局との意見交換会に出席
- 11月8日(水)
日本経済団体連合会に、私立大学のリカレント教育などを説明
- 11月15日(水)
主要国会議員に、高等教育の無償化などを説明
- 11月20日(月)
財務大臣に、平成30年度私立大学関係政府予算を要望
- 11月21日(火)
第7回理事会、第2回秋季総会に出席
- 11月28日(火)
全私学連合「私学振興協議会」に出席
全私学連合(代表・鎌田薫早稲田大学
総長、本連盟会長)では、11月25日(於
ザ・キャピトルホテル東急)、自由民主党
の文教関係国会議員の出席を得て、日本

私立大学団体連合会をはじめ構成団体による「私学振興協議会」を開催した。

当日は、冒頭に鎌田薫全私学連合代表・日本私立大学団体連合会会長と河村建夫衆議院議員・元文部科学大臣との両共同代表からあいさつがあり、平成29年度予算編成と税制改正に向けて私学が抱える諸課題とその対応策などについて、私学側からは大学をはじめ各構成団体による要望等を行い、出席議員と私学振興に向けた協議・懇談を行った。

- 12月5日(火)、14日(水)
主要国会議員に、経済政策パッケージ(高等教育の無償化)を要望
- 12月12日(火)
第8回常務理事会に出席

開催報告

● 11月20日(月)・21日(火)
「学生支援研究会」開催

「ダイバーシティ・キャンパスの実現に向けた学生支援」をテーマに、ANAクラウンプラザホテル神戸(神戸市)にて開催。45大学74名の参加があった。

● 12月1日(金)・12月2日(土)

「第2回財務・人事担当理事者会議」開催
「震災に備える経営戦略」をテーマに、神戸ポートピアホテル(神戸市)にて開催。59法人85名の参加があった。



第2回財務・人事担当理事者会議

私大連盟公式Facebookページ

公式Facebookページ (<http://www.facebook.com/shidaren>) を開設しています。



奇数月20日（年6回）刊行

●WEBサイトにて、全文無料公開中

※第348号（2013年1月発行）から

詳細は

<http://daigakujihou.shidaiaren.or.jp/>



第374号（2017年5月発行）

【特集】

女性の学び直しにおける大学の役割



【座談会】

大学における第二外国語教育の意義とこれからの展開

【インタビュー】

佐々木 茂喜氏（オタフクホールディングス株式会社代表取締役社長）

第375号（2017年7月発行）

【特集】

大学業務の委託や教育プログラムにおける連携協力



【座談会】

キャンパスの都心回帰の意義と今後の展開

【インタビュー】

平田 徹氏（横浜高等学校教諭、硬式野球部監督）

第376号（2017年9月発行）

【特集】

学生の学修時間確保の現状と課題



【座談会】

就職採用活動の日程と大学教育の現状を考える

【インタビュー】

野村 倫子氏（箏曲演奏家）

第377号（2017年11月発行）

【特集】

薬学教育のいま



【座談会】

全員留学に期待する効果と注意点

【インタビュー】

和田 由里氏（株式会社花満相談役兼企画広報室長）

座談会 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」

特集 「ICTを活用した通信教育課程」

小特集 「アカデミック・ハラスメントの現状と課題」

表紙・大学点描 梅花女子大学 だいがくのたから 京都産業大学

クロースアップ・インタビュー：

「島添亮子さん（バレエダンサー、小林紀子バレエシアタープリンシパル）」

編集後記

◆グローバル化やAI、IoTを始めとした科学技術の進展、少子高齢化などの大きな社会変化の中で、大学は生涯学習が続くことができる人材を育成するとともに、そうした人材が学び続ける場を創り出すことが求められている。特集「生涯学習・社会人の学び直し」では、夜間部教育の現状、地域貢献・活性化のための「シニア学生」の受け入れ、「地域公共政策士」資格取得につながる教育プログラム、地域医療経営人材の育成、MOETの学びを通じたキャリアアップ支援、企業人のグローバル化養成といった、各大学の理念や教育の特長に基づいた多様な事例を紹介いただいた。私が勤務する大学でも、生涯学習・社会人学び直しの充実に向けて、プログラムの対象や正課・正課外の位置付け、社会人のニーズを踏まえた魅力あるプログラムづくり、ICTの活用といった教育方法など課題が多く、本特集は多くの大学での検討の参考になると考える。（広報・情報部門会議（大学時報）委員・立命館大学総合企画部広報課長 五坪智彰）

◆小特集「大学の緑地管理」では、四つの大学に取り組みをご執筆いただいた。著者の皆様には大学の緑地の魅力をご紹介いただくとともに、その管理の苦心についてもお書きいただいたので、さまざまな大学にとって参考になる内容となったのではないだろうか。樹木や緑地は「いきもの」であるので、よく手入れをすれば大学の見事な景観を形成する。これにはキャンパス全体の長期的なマスタープランが不可欠であることがよく理解できた。教育施設として農場や森林を保有する大学は多く、また、歴史的な建物や景観を緑地と一体化させながら維持管理する役割を担う大学があることも教えられた。日々をすくすくしている短期的な、たとえば年度単位の日標ばかりに関心を向けがちであるが、数十年にわたる長期的な視野に立って考えることの重要性を改めて認識した。本小特集がさまざまな大学のご参考となれば幸いである。（広報・情報部門会議（大学時報）委員・南山大学理工学部 教授 三浦英俊）

◆クロースアップ・インタビューでは、東北楽天ゴールデンイーグルスの投手・岸孝

之さんにお話を伺った。厳しいプロの世界において、毎年コンスタントに好成績を収めている選手だが、インタビューの最中は終始穏やかな表情で、優しい物言いが印象に残った。

これはシーズンオフだからなのか、インタビュー直前まで開催されていたファン感謝祭の影響か、それとも普段からこのような落ち着いた性格なのか。おそらく、性格によるものではないだろう。それは、インタビューで語っていた「試合前に感じるプレッシャーをどうにかしよう」とせず、あるがままに受け入れる」という姿勢に表れているように感じた。

2017年、彼の地元である仙台を本拠地とする東北楽天ゴールデンイーグルスに背負いながらも8勝をあげ、チームのクライマックスシリーズ出場に大きく貢献した。新天地で迎える2年目のシーズン。どのような環境においても、あるがままに物事の全てを受け入れる岸孝之さんの今後の活躍から目が離せない。（日本私立大学連盟事務局 佐藤義文）

